

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達支援放課後等デイサービスさくら		2025年 1月 31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		教材・玩具を活動スペースとは別の場所に収納するようにしている。のびのび過ごせている。	今後も継続していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		手厚く支援できるように職員配置しています。	今後も継続していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		入ってはいけないところは×の印をつけるなど、視覚的にわかりやすくしている。	今後も継続していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日の清掃を丁寧に行っています。	今後も継続していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		特性に応じて、状況に合わせて、個室で対応するなど、工夫しています。	今後も継続していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		お子様達のために何が必要か都度話し合っている。	今後も継続していきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		半年に1回の面談や、会議などで保護者から頂いた意見を活かし、業務改善につなげています。	今後も継続していきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		日々ミーティングを行い、情報共有しながら、業務が円滑に行えるようにしている。	今後も継続していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	外部評価を行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	3	療育について話し合う機会は設けている。	必要に応じて、研修の機会を設けていきます。
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0	7	作成中です。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	7		面談後、職員間で共有・相談しながら、作成しています。	今後も継続していきます。
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		面談後、職員間で共有・相談しながら、作成しています。	今後も継続していきます。
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		個人カルデに計画をはさみ、職員がいつでも確認できるようにしている。また、個人の連絡ファイルにも課題を添付することで、日々計画を意識して、支援できるようにしている。	今後も継続していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		必要に応じて、お子様の課題などについて話し合う場を設けている。	今後も継続していきます。
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		5領域に沿った計画を立て、支援を行っています。	今後も継続していきます。

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		日々のミーティングなどで話し合っ、決めています	今後も継続していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		季節の活動を取り入れたり、様々な職員が考えることで、固定化されていない。	今後も継続していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	7		面談時に保護者からの聞き取りをした上で、職員で会議を行い、必要な支援を考えている。	今後も継続していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		送迎表等共有し、役割分担を行っている。必要に応じて、ミーティングを行っている。	今後も継続していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	送迎等で毎日支援後に振り返りを行うことが難しいので、次の日にすることが多い。	今後も継続していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		可能な限り行っている。	今後も継続していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		半年に1回の面談を実施して、計画の見直しをしています。	今後も継続していきます。
	24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。	7		長期休暇を利用して、外出しての活動を取り入れています。創作活動も定期的に行っています。	地域交流の機会を増やせるようにしていきたいです。
	25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		お子様の特性や発達段階に合わせて、コミュニケーションの方法を考えて支援を行っている。	今後も継続していきます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		看護師や管理者、指導員が参加しています。	今後も継続していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		学校や保育園と情報共有しながら、支援をしています。	今後も継続していきます。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		7	設けられていません。	必要があれば機会を設けていきます。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7	現在は機会がありません。	今後機会を作ることができたらいいなと考えます。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡ノートで共有したり、必要に応じて連絡を取り合うなどしている。	今後も継続していきます。
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		現在は行っていません。	
	32	【児発事業所・児発センターのみ】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		相談支援員、ご家族とも話をする中で併行利用や移行も考えながら、支援を行っている。定期的に支援学校での支援会議を行い情報共有をしています。	今後も継続していきます。
	33	【児発事業所・児発センターのみ】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		必要に応じて、会議を行ったり、情報共有を空している。	今後も継続していきます。
	34	【児発センターのみ】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	【児発センターのみ】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	36	【児発センターのみ】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				

	37	【放デイのみ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		保護者と密に連絡を取り、確認できている。	今後も継続していきます。
	38	【放デイのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		必要に応じて、会議を行ったり、情報共有を空している。	今後も継続していきます。
	39	【放デイのみ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		これまでにそういったケースがなかった。	今後あれば、対応できるようにしていきます。
	40	【放デイのみ】（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		7	参加できていません。	今後参加していきたいと考えています。
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時や質問があった際には行っています。	今後も継続していきます。
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		半年に1度、面談を設けています。また希望があった際には、面談をしています。	今後も継続していきます。
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		面談時には、計画をもとに、話をしています。	今後も継続していきます。
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		半年に1度、面談を設けています。また希望があった際には、面談をしています。	今後も継続していきます。
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7	現在は実施できていません。	機会を作って、設けたいと思います。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		相談・苦情に対しては、迅速に対応し、謝罪と説明をしています。	今後も迅速に対応します。
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		Instagramにて、日々の活動の様子を配信しています。	今後も継続していきます。
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		Instagramに配信する写真は個人が特定できないようにしています。また写真掲載可能かどうかの同意をもらっています。	今後も継続していきます。
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		視覚的支援を取り入れたり、手話や指文字も使っている。	今後も継続していきます。
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7	現在は実施出来ていません。	機会があれば実施していきます。
非常時等の	51	【放デイのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		相談があった場合、面談をしている。	今後も継続していきます。
	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各マニュアルを作成しています。	今後も継続していきます。
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		月に1回、避難訓練をしています。	今後も継続していきます。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		見学时、契約時に確認しています。	今後も継続していきます。
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		現在は食満アレルギーのお子様はいません。医療ケア児は医師の指示書を年度毎に、お預かりしています。	今後も継続していきます。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		看護師も含め、職員全員で発作時の対応を確認するなど、安全に支援できるようにしています。	今後も継続していきます。

対 応	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		契約時や面談時に説明しています。	今後も継続していきます。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットが起こった場合、今後の対策を職員で話し合うようにしています。	今後も継続していきます。
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		日々の支援の中で、話し合ったり、虐待防止委員会も設置し、定期的にミーティングを行っています。	今後も継続していきます。
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		安全のためのチャイルドシートや椅子のベルト使用の場合、同意をもらっており、計画にも記載しています。	半年ごとの面談で、保護者と見直しをさせてもらい、出来るだけ身体拘束を行わないようにしています。必要な場合は同意を頂きます。